

専門学科「情報科」での取り組みと問題点

東京都立新宿山吹高等学校 綿貫俊之

1 はじめに

平成 15 年度の学習指導要領の改訂以来、専門学科「情報科」の設置する学校において、どのような取り組みが行われているか、またこれまでに専門学科「情報科」での役割から考えられる点はどのようなことが挙げられたかの一例について、以下に述べる。

2 専門学科「情報科」での取り組み

専門学科「情報科」では、設置校によってさまざまな取り組みが行われている。

授業では、現学習指導要領に記載してある専門教科「情報」の科目 11 科目だけでなく、専門学科としての卒業要件の 25 単位以上満たすために学校設定科目も併せて設置・授業を実施している。その授業や「情報科」の目的を果たすための一つに、外部機関（大学・企業団体等）と連携しながらの課題や大会参加など、生徒の技術力育成かつ教員の指導力向上や学校の活性化に繋がる形で以下の事業に取り組んだ。

① 全国専門学科「情報科」研究協議会

生徒や教員の研究発表を行う場として、平成 15 年度より既に 7 回実施し、今年度は 8 月 23～24 日には、三重県津市にて実施される。

② 全国産業教育フェア

全国産業教育フェアは、産業教育に関する成果等の総合的な発表の場を全国的な規模で提供することを目的に、文部科学省ほか開催地都道府県教育委員会等が主催して、これまでに各校の情報科代表として生徒発表に参加した。

③ ICT 人材育成プロジェクト

文部科学省より、「ICT 分野の高度な知識及び技能を有する人材の育成に資する教育方法等の研究開発を実施するため、情報の専門教育を主とする学科等を対象」とした研究助成を受けた。

④ E スクエア・アドバンス事業「産業協力授業」

校内に不足している機材の借用とサポートを受け、また外部講師を招待しての講話などを CEC（財団法人コンピュータ教育開発センター）と株式会社内田洋行の協力を得て、実施した授業や特別講座もある。

3 専門学科「情報科」での役割（目的）から考える問題点

専門学科「情報科」設置校において、各校の学校目標はあるものの、主には

- ・職業生活への準備と作業への適応のために、情報を専攻する生徒が必要なことを学ぶ
- ・将来、情報に関する職業に携わる人材の育成を目標が掲げられる。

その全てが当てはめられて目標を達成できているとは言い難い。入学から卒業後の進路、またそれに似合う教育内容が施されているかということ、学校の特色や学力層など、さまざまな面で考えられるところは多い。

① 入学から卒業までのカリキュラム

専門学科の設置校は、多くの学校に比べて必修科目以外の選択科目の開講時間が多いものの、卒業までのカリキュラムは、各校によってさまざまである。大きく分けると「システム系」と「コンテンツ（マルチメディア）系」に分かれて実施する学校が多いものの、単位制のように科目単独で実施・履修・修得する学校もある。

② 進路

卒業時の進路については、専門学科であれば「職業教育」として行っている生徒に対して、情報に関する進路先に進んでいるかどうかということになるが、結果としては難しいのが現状である。

入学時は、情報科として入学したものの引き続いて情報系（または理工系）の進路先を希望、進んでいるかといえば、ダウン傾向にある。技術的な内容が難しいことを理由に挙げるものの、「情報技術」を使って他の学問や職業を選択するものが少なからず存在する。また、就職となると「ほとんど難しい」、「無い」というのが現状になる。情報技術を学ぶために設置した学校とはいえ、技術的な力の問題や専門学科「情報科」自体の社会的な認知度が広がっていないのではないか。このような結果は、一部商業科等を併設している学校では就職率は高いものの、技術者不足といわれる我が国にとっても、今後考えさせられる点が多い。

4 おわりに

学校によっては、産業教育のサポートを受けながら効果を出している学校もあるが、教員側の力量や学校の設備、また生徒の進路まで広範囲にわたる問題は多く、そのための開拓を一つでも多くできるようにしていきたい。